

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(A剤)

【1. 化学物質等及び会社情報】

| | |
|--------------|---------------------------------|
| 製品名 | : キープオンコンクリート・タイルコート A 剤 |
| 会社名 | : 保存科学株式会社 |
| 住所 | : 〒468-0043 名古屋市天白区菅田1丁目 906 番地 |
| 担当部門 | : 材料販売事業部 |
| 電話番号 | : 052-808-0300 |
| FAX番号 | : 052-808-0300 |
| メールアドレス | : hozonkagaku@wings.ne.jp |
| 緊急連絡先 | : 052-808-0300 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | : コンクリート面・煉瓦・石材・タイル面の含浸強化剤 |

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性

| | |
|----------|---------|
| 引火性液体 | : 区分2 |
| 自然発火性液体 | : 区分外 |
| 自然発火性固体 | : 分類対象外 |
| 自然発熱性化学品 | : 区分外 |

健康に対する有害性

| | |
|-------------------|----------------|
| 急性毒性(経口) | : 区分5 |
| 急性毒性(経皮) | : 区分外 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | : 区分2B |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) | : 区分2(中枢神経系) |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) | : 区分3(気道刺激性) |
| 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) | : 区分2(呼吸器系、肝臓) |
| 吸引力呼吸器有害性 | : 区分2 |

環境に対する有害性

| | |
|-----------|-------|
| 水性環境急性有害性 | : 区分外 |
| 水性環境慢性有害性 | : 区分外 |

上記で記載がない危険有害区

分は、「分類対象外」が「分類できない」

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 引火性の高い液体及び蒸気、飲み込むと有害のおそれ、皮膚刺激、目刺激、飲み込んで気道に進入すると有害の恐れ、肝臓傷害の恐れ(中枢神経系) 長期にわたる、または反復暴露による臓器障害の恐れ(肝臓、呼吸器系)

注意書き

【安全対策】

: 使用前に MSDS を入手し、全ての安全注意事項を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙-
容器を密閉し、涼しいところの設置しておくこと。
静電気放電に対する安全対策を講じること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときは、飲食または喫煙しないこと。
保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(A剤)

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
換気が十分でない場合には、呼吸器用保護具を着用すること。
環境への放出を避けること。

【救急処置】

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
目に入った場合 : 水で数分間、注意深く洗い、コンタクトレンズを容易に外せる場合には外した上で洗うこと。
皮膚または毛髪に付着した場合 : 直ちに、全ての汚染された衣類を全て取り除き、多量の水と石けんで洗い直すこと。

汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
暴露したとき、または気分の悪いときは、医師に連絡すること。
火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区分

: 混合物

危険有害物質についての表示

| 成分名 | 含有量 (wt%) | 労働安全衛生法 | CAS No |
|----------|-----------|----------|----------|
| 酢酸イソプロピル | 51~62.5% | 通知すべき有害物 | 108-21-4 |

【4. 応急措置】

吸入した場合

: 被災者を、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
必要な場合、衣服を緩めて人工呼吸を行う。
直ちに医師の診断・手当てを受けること。

皮膚または髪に付着した場合

: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断・手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

目に入った場合

: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること。

飲み込んだ場合

: 口を良くすすぎ、無理に吐かせないこと。
直ちに医師の診断・手当てを受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合 応急措置をする者の保護

: 気分の悪い場合、医師の診断・手当てを受けること。
: 保護手袋・保護眼鏡を着用すること。

【5. 火災時の措置】

消火剤

: 小火災の場合 粉末消火剤、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
: 大火災の場合 粉末消火剤、二酸化炭素、対アルコール性泡消火器、散水
: 使ってはならない消火剤 : 棒状注水

火災時の特定危険有害性

: 極めて燃えやすい。熱、火花、火炎で容易に発火する。
加熱により容器が爆発する恐れがある。
蒸気が空気と爆発性混合気をつくる恐れがある。屋内、屋外、下水溝で爆発の危険性がある。

特定の消火方法

: 散水以外の消火剤で消火の効果がない場合は散水する。
危険でなければ、火災区域から製品容器を移動する。

消火を行う者の保護

: 自給式呼吸器、科学保護衣服等を着用する。

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(A剤)

【6. 漏出時の措置】

| | |
|------------|--|
| 人体に対する注意事項 | : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立入りを禁止する。漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、自給式呼吸器等を着用する。低地から離れ風上に留まる。 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 |
| 環境に対する注意事項 | : 排水溝に流さない。流出した製品が河川等に排出され、環境への悪影響を起さないように注意する。 |
| 除去方法 | 大量漏洩時には、盛り土で囲い流出を防止した後、液体を空容器に回収する。 この際、着火源となるバキュームポンプを使用してはならない。帯電防止工具を用いる。 少量残量分または少量漏洩時には、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは密閉できる空容器に改修した後、廃棄処理する。 |
| 二次災害の防止策 | : 付近の着火源となるものを取り除くとともに消化剤を準備する。 火花を発生しない防爆型の安全な機器及び用具を使用する。 |

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

| | |
|-------------|--|
| 技術的対策 | : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い保護具を着用する。 |
| 局所排気・全体換気 | : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。 |
| 安全な取り扱い注意事項 | : 全ての安全注意事項を読み理解するまで取り扱わないこと。 火災の場合に爆発する危険性があり、区域より退避させること。 換気の良い場所で取り扱うこと。 環境への放出を避けること。 目、皮膚または衣類に付着させないこと。 静電気対策のために装置、機器等の設置を確実にを行う。電気機器/換気装置/照明機器/工具は防爆型のものを用いる。 取り扱い後は手を良く洗うこと。 使用場所周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、または引きずる等の取り扱いをしてはならない。 「10. 安定性及び反応性」を参照 |

接触回避

保管

| | |
|---------|---|
| 適切な保管条件 | : 市町村条例に従った場所に保管する。 容器は密栓し換気出来る乾燥した冷暗所に保管する。 施錠し、混雑危険物質から離して保管する。 危険物を貯蔵し取り扱うために必要な採光・照明及び換気の設備を設ける。 保存容器は消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。 |
|---------|---|

【8. 暴露防止及び保護措置】

管理濃度・許容濃度

| 成分名 | 管理濃度 | 許容濃度 | |
|----------|---------|----------|-------------|
| | | 日本産業衛生学会 | ACGIH |
| 酢酸イソプロピル | 100 ppm | 未設定 | TWA 100 ppm |

| | |
|------|--|
| 設備対策 | : 原則として取扱いは屋外にて行うこと。屋内にて取り扱う場合は、局所排気装置を設置すること。 取扱場所の近くに安全シャワー、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示すること。 設置する機械、使用する用具は防爆仕様のもをを設置または使用すること。 |
|------|--|

保護具

| | |
|------------|-------------------------------|
| 呼吸器の保護具 | : 自給式呼吸器、エアラインマスク、有機ガス用防毒マスク。 |
| 手の保護具 | : 耐油性保護手袋。 |
| 目の保護具 | : ゴーグル、保護眼鏡、防災面等。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 耐油性保護衣服、耐油性保護長靴、耐油性前掛け等。 |

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(A剤)

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態

| | |
|--------------|---------------------------|
| 形状 | : 液状 |
| 色 | : 無色透明 |
| 臭い | : 特異臭 |
| pH | : 該当せず |
| 融点・凝固点 | : データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | : データなし |
| 引火点 | : 7.7°C (タグ密閉式) |
| 発火点 | : データなし |
| 爆発範囲 | |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 比重(又は密度) | : 0.89(20°C) |
| 溶解度 | |
| 水 | : 溶解しない。 |
| その他の溶媒 | : 芳香族炭化水素類、エステル類、ケトン類に可溶。 |
| オクタール/水分係数 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |

【10. 安定性及び反応性】

| | |
|-----------|---|
| 安定性 | : 通常取り扱い条件において安定。 |
| 反応性 | : 強酸、強塩基、強酸化剤(硝酸塩など)と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 |
| 避けるべき条件 | : 加熱、火源、混蝕危険物質との接触 |
| 混蝕危険物質 | : 強酸、強塩基、強酸化剤(硝酸塩など) |
| 危険有害分解生成物 | : 燃焼により、一酸化炭素などの有毒ガスが発生する。 |

【11. 有害性情報】

急性毒性

| | |
|-----------------|--|
| 急性毒性(経口) | : 酢酸イソプロピル LD50(ラット) = 3000mg/kg に基づき、区分5とした。 |
| 急性毒性(経皮) | : 酢酸イソプロピル LD50(ウサギ) > 2000mg/kg に基づき、区分外とした。 |
| 急性毒性(吸入、蒸気、ミスト) | : データがないため分類できない。 気体は分類対象外 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 酢酸イソプロピルが区分2に分類されることから区分2とした。 |
| 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | : 酢酸イソプロピルが区分2Bに分類されることから区分2Bとした。 |
| 呼吸器感受性または皮膚感受性 | : データがないため分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | : データがないため分類できない。 |
| 発がん性 | : データがないため分類できない。 |
| 生殖毒性 | : データがないため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(単回暴露) | : 酢酸イソプロピルが中枢神経系に対して区分 2、気道刺激性に対して区分3の危険性があることから、区分2(中枢神経系)、区分3(気道刺激性)とした。 |
| 特定標的臓器毒性(反復暴露) | : 酢酸イソプロピルが呼吸器系、肝臓に対して区分2の危険性があることから、区分2とした。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 酢酸イソプロピルが区分2に分類されることから区分2とした。 |

【12. 環境影響情報】

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| 水生環境急性有害性 | : 酢酸イソプロピルが区分外の危険性であることから、区分外とした。 |
| 水生環境慢性有害性 | : 酢酸イソプロピルが区分外の危険性であることから、区分外とした。 |
| 生態毒性 | : データなし |
| 残留性/分解性 | : データなし |

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(A剤)

土壌中の移動性 : データなし
 生物蓄積性 : データなし

【13. 廃棄上の注意】

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。
- ・廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- ・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を充分告知した上で委託すること。

【14. 輸送上の注意】

国際法規制 : 海上規制情報はIMO、航空規制情報はICAO/IATAの規定に従う。
 国連分類・国連番号 : 該当しない。
 国内規制 : 陸上規制情報は該当しない。
 海上規制情報は、船舶安全法の規制に従う。海洋汚染物質には該当しない。
 航空規制情報は航空法の規制に従う。
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 車両当で輸送する場合は、運送人に運送注意書(イエローカード)を交付すること。
 運送に際しては、容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

【15. 適用法令】

消防法 : 危険物第4類 第一石油類(非水溶性)
 労働安全衛生法 : 第2種有機溶剤等、名称等を表示すべき危険物及び有害物、危険物・引火性の物
 大気汚染防止法 : 揮発性有害物質 法第2条4項(有機溶剤中毒予防規制該当物質)
 海洋汚染防止法 : 有害液体物質
 船舶安全法 : 引火性液体類
 航空法 : 引火性液体
 港則法 : 危険物・引火性液体類

【16. その他の情報】

本製品安全データシート(MSDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を輸出する場合は、どのような形態でありましても、弊社に事前にご連絡をお願いいたします。

また、MSDS中の注意事項は通常の取り扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取り扱いをされる場合は、用途使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。

また、当社は、MSDSの内容について十分注意を払っておりますが、その内容を保証するものではありません。

引用文献等

- 1) GHS国連原文日本語版 改訂第3版
- 2) GHS対応ガイドライン(暫定版)第二部製品安全データシートの作成指針(改訂2版) 社団法人 日本化学工業協会
- 3) GHS対応による混合物(化学物質)のMSDS作成手法の研修テキスト 中央労働災害防止協会
- 4) 公表GHS分類結果 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
- 5) 自社資料

《 最終ページ 》

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(B 剤)

【1. 化学物質等及び会社情報】

| | |
|--------------|---------------------------------|
| 製品名 | : キープオンコンクリート・タイルコート B 剤 |
| 会社名 | : 保存科学株式会社 |
| 住所 | : 〒468-0043 名古屋市天白区菅田1丁目 906 番地 |
| 担当部門 | : 材料販売事業部 |
| 電話番号 | : 052-808-0300 |
| FAX番号 | : 052-808-0300 |
| メールアドレス | : hozonkagaku@wings.ne.jp |
| 緊急連絡先 | : 052-808-0300 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | : コンクリート面・煉瓦・石材・タイル面の含浸強化剤 |

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

| | |
|----------------------------------|-------|
| 物理化学的危険性 | |
| 引火性液体 | : 区分外 |
| 健康に対する有害性 | |
| 急性毒性(経口) | : 区分外 |
| 急性毒性(経皮) | : 区分外 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性 | : 区分外 |
| 皮膚感作性 | : 区分外 |
| 呼吸器感作性 | : 区分1 |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 区分外 |
| 環境に対する有害性 | |
| 水性環境急性有害性 | : 区分2 |
| 上記で記載がない危険有害性は、「分類対象外」か「分類できない」。 | |

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



| | |
|---------|--|
| 注意喚起語 | : 危険 |
| 危険有害性情報 | : 皮膚刺激 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ 水生生物に毒性 |

注意書き

【予防策】

: 使用前に MSDS を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 容器を密閉しておくこと。
 可燃性があるので、火気に注意すること。
 保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。
 ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 環境への放出を避けること。

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(B 剤)

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学 : ヘキサメチレンジイソシアネートのポリイソシアネート体

| 成分 | 含有量 ^{注1)} (wt%) | 化学式 | 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) | CAS No. |
|-----------------|-----------------------------|---|-----------------------|----------|
| ポリイソシアネート | 99.5 | OCN(CH ₂) ₆ NCO のポリイソシアネート | 既存(非公開) | 非公開 |
| ヘキサメチレンジイソシアネート | 0.5 | OCN(CH ₂) ₆ NCO | (2)-2863 | 822-06-0 |

注1) 代表値であり、規格値ではありません。

【4. 応急措置】

吸入した場合 : 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
必要な場合、衣服を緩めて人工呼吸を行う。
呼吸に関する症状が出たとき、気分が悪いときには、医師の診断を受けること。

皮膚または髪に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

目に入った場合 : 水で15分間以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口を良くすすぎ、250～300mlの水または牛乳を飲ませ、医師の診断を受けること。
無理に吐かせないこと。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

暴露又は暴露の懸念がある場合
応急措置をする者の保護 : 気分の悪い場合、医師の診断／手当てを受けること。
保護手袋／保護眼鏡を着用すること。

【5. 火災時の措置】

消化剤 : 粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、噴霧状の水。
火災時の特定危険有害性 : 溶剤蒸気、ヘキサメチレンジイソシアネート蒸気などを発生し、更に分解するとNOxなどを生じる危険性がある。

特定の消火方法 : 危険なくできるときは、液体を除去し、周囲の可燃物を除去する。初期の火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂を用いる。棒状水の使用は火災を拡大し、危険な場合がある。
消火は風上から行う。大規模火災のときは、泡を使用して空気を遮断すると有効である。

消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器、保護衣服等の保護具を着用すること。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立入りを禁止する。漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、自給式呼吸器等を着用する。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項 : 排水溝に流さない。流出した製品が河川等に排出され、環境への悪影響を起さないように注意する。

除去方法 : 大量漏洩時には、できるだけ、液体を空容器に回収する。この際、着火源となるバキュームポンプを使用してはならない。回収後の少量残留分に対して、または、少量漏洩時には、中和剤で※中和、あるいは、白土、おが屑に吸着させて回収し、アンモニア水、または水と反応させ、固化させた後、焼却または埋め立て処分とする。こぼれた場所を十分に水洗する。
但し、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(B 剤)

二次災害の防止策

: 付近の着火源となるものを取り除くとともに消化剤を準備する。
火花を発生しない防爆型の安全な機器及び用具を使用する。

※参考

中和剤の作り方例¹⁾

| 重量部 | | | |
|------------|------------|---------------|----------|
| おがくず | 23.0 | } 61.5=粉末担体 | } 100=粉剤 |
| 白土 | 38.5 | | |
| エタノール | 19.2 | | |
| トリエタノールアミン | 3.8 | } 38.5=有効成分溶液 | |
| 濃アンモニア水 | 3.8 | | |
| 水 | 11.5 | | |
| 染料(水溶性) | 0.2 | | |

染料と水とを容器に仕込み、おが屑と白土を加えて1時間かき混ぜ、残りの成分を加える。
溶液を加え始めてから2時間かき混ぜれば十分である。
この粉剤はポリエチレン内張りの袋に貯蔵しておく。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

: 市町村条例に従った場所で取り扱う。
局所排気装置を設けた場所で、ゴーグル(保護眼鏡)、有機ガス用防毒マスク、耐油性ゴム手袋の保護具を着用する。
静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に。電気機器/換気装置/照明機器/工具は防爆型のものを用いる。
火気注意。

保管

適切な保管条件

: 市町村条例に従った場所に保管する。
容器は密栓し、乾燥した冷暗所に保管する。水と反応して二酸化炭素を発生するので、一度開缶した容器は乾燥窒素(または乾燥空気)で置換する。換気の良い場所に保管する。
火気注意。

【8. 暴露防止及び保護措置】

設備対策

: 室内の取扱いは、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

| | 管理濃度 | 許容濃度 | |
|-----------------|----------|----------------------|-------------------|
| | | 日本産業衛生学会 (2006年版) | ACGIH (2006年版) |
| ポリイソシアネート | 設定されていない | 設定されていない | 設定されていない |
| ヘキサメチレンジイソシアネート | 設定されていない | 0.005ppm | TWA:0.005ppm |

保護具

呼吸器の保護具

: 自給式呼吸器、エアラインマスク、有機ガス用防毒マスク。

手の保護具

: 耐油性保護手袋。

目の保護具

: ゴーグル、保護眼鏡、防災面等。

皮膚及び身体の保護具

: 耐油性保護衣服、耐油性保護長靴、耐油性前掛け等。

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(B 剤)

【9. 物理的及び化学的性質】(引用文献の注記のないものは自社資料による)

外観

| | |
|--------------|---------------------------|
| 物理的状態 | : 液状 |
| 色 | : 微黄色 |
| 臭い | : 微臭 |
| pH | : 該当せず |
| 融点・凝固点 | : データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | : データなし |
| 引火性 | : 252°C (クリーブランド開放式) |
| 発火点 | : 426°C (ASTM法) |
| 爆発範囲 | 下限 上限 |
| | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 比重(又は密度) | : 1.16 (20°C) |
| 溶解度 | |
| 水 | : 溶解しない。 |
| その他の溶媒 | : 芳香族炭化水素類、エステル類、ケトン類に可溶。 |
| オクタール/水分係数 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |

【10. 安定性及び反応性】

| | |
|-----------|---|
| 安定性 | : 経時変化あり。 |
| 反応性 | : 水、アルコール、アミン、カルボン酸などと反応する。 水、カルボン酸と反応して、二酸化炭素を発生する。 |
| 避けるべき物質 | : 水、アルコール、アミン |
| 危険有害分解生成物 | : 一酸化炭素、二酸化炭素、NOxなど。 |

【11. 有害性情報】

※1 以下ヘキサメチレンジイソシアネートの略称としてHDIを用いる。

急性毒性

| | |
|--------------|--|
| 急性毒性(経口) | : LD50(ラット) > 2500mg/kg ⁵⁾ より、区分外に分類される。 |
| 急性毒性(経皮) | : LD50(ラット) > 2000mg/kg ⁵⁾ より、区分外に分類される。 |
| 急性毒性(吸入: 蒸気) | : データがないため、分類できない。 (残留HDI : 0.5% 区分1, LC50(ラット, 4h) = 20ppm ⁴⁾) |

皮膚腐食性/刺激性

: 区分2 (皮膚刺激)に分類される。⁵⁾

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

: 区分外に分類される。⁵⁾

呼吸器感作性

: データはないが、残留HDIにより、区分1(吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を
起こすおそれ)に分類される。
(残留HDI : 0.5% 区分1⁴⁾)

生殖細胞変異原性

: データがないため、分類できない。
Ames 試験; 陰性⁵⁾

発がん性

: データがないため、分類できない。

生殖毒性

: データがないため、分類できない。

標的臓器/全身毒性(単回暴露)

: データがないため、分類できない。
(残留HDI : 0.5% 区分1 (呼吸器) ⁴⁾)

標的臓器/全身毒性(反復暴露)

: データがないため、分類できない。
(残留HDI : 0.5% 区分1 (呼吸器) ⁴⁾)

吸引性呼吸器有害性

: 動粘性率(40°C)の推定値 > 20.5mm²/sなので、区分外に分類される。

【12. 環境影響情報】

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(B 剤)

| | |
|-----------|--|
| 水生環境急性有害性 | : 区分2 (水生生物に毒性)に分類される。 |
| 水生環境慢性有害性 | : データがないため、分類できない。 |
| 生態毒性* | : ヒメダカ, 96h LC50=3.8mg/L ⁵⁾ オオミジンコ, 48h EC50>10mg/L ⁵⁾ 藻類, 72h, 速度法 ErC50>10mg/L ⁵⁾ |

※: 水への溶解助剤として、N,N-ジメチルホルムアミド使用

| | |
|---------|--|
| 残留性/分解性 | : データなし。 (HDI 難水溶性でない ⁴⁾) |
| 土壤中の移動性 | : データなし。 |
| 生物蓄積性 | : データなし。 |

【13. 廃棄上の注意】

- ・液状のまま焼却するか、中和剤、ポリオールと反応させて固形物とし、固形物は焼却または埋め立て処分とする。
- ・空容器を廃棄するときは、水を満たして2週間以上放置した後、廃棄する。この際、水を満たした容器は二酸化炭素ガスを発生するので、容器に蓋をしてはならない。
- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

【14. 輸送上の注意】

国際法規制

IMDG (国際海上危険物規制)コード

: 該当しない。

ICAO-TI (国際民間航空機関技術指針)、LATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則)

: 該当しない。

国連分類・国連番号

: 該当しない。

国内規制

: 下記の輸送に関する国内法規制に該当するので、各法に従った容器、積載方法により輸送する。
消防法 非危険物 指定可燃物 (可燃性液体類)

緊急時応急措置指針番号

: 171

輸送の特定の安全対策

及び条件

: 車両等で輸送する場合は、荷送人は運送人に運送注意書(イエローカード)を交付してください。
運送に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

【15. 適用法令】

消防法

: 非危険物 指定可燃物(可燃性液体類)

労働安全衛生法

: 57条の2 (通知対象物) ; HDI (第519号)

製品安全データシート

ダンカン タイルコート(B 剤)

【16. その他の情報】

本製品安全データシート(MSDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を輸出する場合は、どのような形態でありましても、弊社に事前にご連絡をお願いいたします。

また、MSDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。

また、当社は、MSDS 記載内容について十分注意を払っておりますが、その内容を保証するものではありません。

引用文献等

- 1) 日本化学会防災指針 No.114 「ヘキサメチレンジイソシアネート」
- 2) GHS対応ガイドライン(暫定版) 第二部 製品安全データシートの作成指針(改訂2版)
社団法人 日本化学工業協会
- 3) GHS対応による混合物(化学物質)のMSDS作成手法の研修テキスト
中央労働災害防止協会
- 4) 公表GHS分類結果 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
- 5) 自社資料

《 最終ページ 》